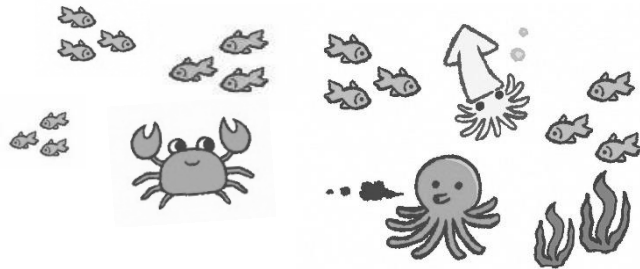
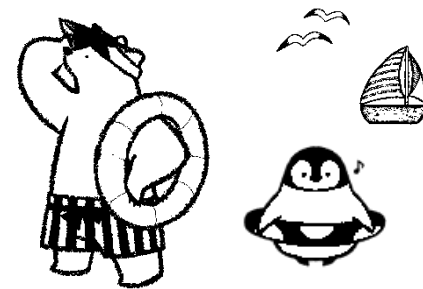


夏のおてがみ5・6年生



暑い日には、エアコンのきいた部屋で
ゲームやYouTubeを楽しむのもすてきですが
のんびり読書もおすすめです。
お気に入りの一冊を探してみてくださいね。



『ともだち』

内田 麟太郎／詩
南塚 直子／絵
小峰書店



この絵本には詩が13編入っています。表題作の「ともだち」という詩には、ぼくはぼくできみじゃない、きみはきみでぼくじゃない、ちがっていたからであえたね、とあります。そんな関係にあこがれませんか。あなたもあなたの大切なともだちのことを考えながらこの詩集を読んでみてください。陶器の板に図柄を焼き付けた「陶板画」で描かれた、かわいさし絵にも注目です。

『バトン』

中川 なをみ／作
大野 八生／画
くもん出版



一人で絵をかくことと植物が好きな圭、元気なイラン人のハッサン、学校ではしゃべらない朝子。白くて大きな花をさかせる「タイサンボク」の木と、圭のおばあちゃんが、三人にもらってほしいというひな人形が物語のキーポイントとなります。それぞれの家族の事情を理解しあって、三人は友情を深めていきます。

『博物館のバックヤードを 探検しよう！』

D K社／編 小林 玲子／訳
河出書房新社



世界には、5万5000以上の博物館があります。歴史や乗り物、昆虫などたくさんの種類があります。博物館では、歴史をずっと未来にまで残すため、海の底や、地面のなかを調べます。見つかったものは、新しい発見がないか調べ、こわれているところを直します。さあ、新しい発見をするため、近くの博物館へ行ってみませんか？

『わかるかな？ 小学生の 陸上競技ルール』

三浦 敬司／著
ベースボール・マガジン社



「走る・跳ぶ・投げる」を競う陸上競技。この本を読めると、意外に陸上競技の基本的なルールを知らずにいたことが分かります。例えば、トラックを走る競技ではスタートラインは距離に含まれますが、フィニッシュラインは含まれません。ルールを知ること、競技成績が伸びてもっと陸上競技が楽しくなりますよ。

『夜をあるく』

マリー・ドルレアン／作
よしい かずみ／訳
B L 出版



夜おそく、まだ夜中と言っていい時間に、ぼくたち家族は出発しました。家々の窓からわずかな灯りがもれるばかりの暗い町を歩いていきます。町からどんどん遠ざかっていて、懐中電灯をたよりに山の中を歩いていきます。星がきれに見える場所で一休みしたら、もうひとがんばり。あと少しで目的地の山頂に到着です。

『空とぶ馬と 七人のきょうだい』

モンゴルの北斗七星のおはなし
イチンノロブ・ガンバートル／文
バーサンスレン・ボロルマー／絵
津田 紀子／訳 廣済堂あかつき



まだ星のなかった昔、モンゴルの王さまが七人の美しい王女たちとくらしていました。王女たちは、あまりにまばゆく美しかったので、ある日、鳥の王が空へとつれさってしまいました。王さまは草原にすむ七人兄弟に王女たちをとりもどせと命じ、七人は力こぶ・鼻ききなどそれぞれのとくぎで鳥の王にいどみます。夜空に北斗七星がうまれたおはなしです。

『おとなってこまっちゃう』

ハビエル・マルピカ／作
宇野 和美／訳 山本 美希／絵
偕成社



サラのおじいちゃんが結婚することになりました。結婚相手はサラのママと同一年です。ママは大反対で、結婚式にも出席する気はありません。まだ会ったことのないおじいちゃんの婚約者を悪く言うママにサラはとまどいます。結婚を祝いたいサラは婚約者とお母さんを仲良くさせ、結婚式に出席する計画を立てはじめました。

『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』

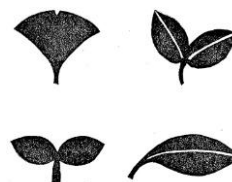
キース・ネグレー／作
石井 睦美／訳 光村教育図書



今より少し前、女の子の服装はドレスと決まっていた。ドレスはきゅうくつで動きづらく、日常生活を送るのも大変でした。ある日、メアリーという女の子はすばらしいアイデアを思いつきました。自分もズボンをはくということです。しかし、このことに町中がおおさわぎ！大反対されたメアリーは自信をなくしてしまいました。

『いろんなところに いろんなむし』

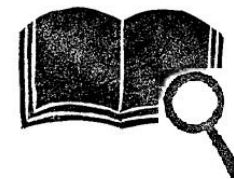
ブリッタ・テッケントラップ／絵
リリー・マリー／文
いとう おしひこ／訳 講談社



むしは、家の中や草原、水の中などいろいろなところにいます。この本では、そんなむしたちの生き残るための工夫や、食事の方法などを知ることができます。ほかにも、熱帯雨林やマダガスカル島など、日本からは遠くはなれた場所のむしたちのことものっています。色あざやかな絵で、楽しくむしについて学べる1冊です。

『そうだったのか！ 身近なものはかり方図鑑』

「そうだったのか！
身近なものはかり方図鑑」
編集委員会／編 文研出版



世の中にある色々なものには、それぞれ単位があり、はかり方があります。熱があるときには、体温計を使います。では、クジラの重さをはかるときはどうするのでしょうか。正解は、トラックの重さがはかれるはかりを使います。他にもたくさん単位やはかり方が書かれています。読んだあとは、いろいろなものを、実際にはかってみましょう。

『サステナブル・ビーチ』

小手鞠 るい／作 カシワイ／絵
さ・え・ら書房



七海は小学六年生の夏休み、母親といっしょにハワイへ旅行する。ビーチを散歩すると、美しい砂浜にプラスチックごみの破片がたくさん流れついていた。ショックをうけた七海は、夏休みの宿題の自由研究でプラスチックごみについて調べることにする。ごみを減らして地球を守るため、七海にできることはあるのだろうか。

『人魚の夏』

嘉成 晴香／作 まめふく／絵
あかね書房



5年生になり、知里のクラスに転校生の海野夏がやってきました。実は知里だけ、夏が人魚であるという秘密を知っています。秘密を一年間守ることで夏の将来が決まるというのですから責任重大です。人気者の夏でしたが、合唱コンクールに向けて練習が始まり歌っていないことがばれてしまいます。クラスの雰囲気が重くなる中、ある提案がなされました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

エスディージーズ じぞくかのう
SDGs(持続可能な開発目標)



地球に住んでいるだれも取り残されことなく、安定して暮らし続けることができるように、世界のさまざまな問題を整理し、解決するために作られた具体的な目標を、SDGs(持続可能な開発目標)といいます。全部で17ある目標のうち、14番目の目標は「海の豊かさを守ろう」です。夏のおてがみで紹介する『サステナブル・ビーチ』は人間が海を汚している問題について書かれています。夏休みに、地球のことを少し考えてみませんか。

